

# 国語・数学の力と学習状況 結果報告

～『R6全国学力・学習状況調査（第3学年4月実施）』結果から～武生第六中学校

令和6年4月18日（木）に中学3年生を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果と分析がまとまりましたのでお知らせします。今年度は、国語・数学の調査が行われました。今回の結果をもとに、子どもたちの良い点はさらに伸ばし、課題については、その改善を図るとともに、今回の結果を生活指導の充実や学習状況の改善等に役立てていきたいと思っておりますので、ご家庭でもご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

## ◆国語について

<◎良い傾向 ▲課題が見られたところ>

### 学習指導要領の内容における結果から

◎「言葉の特徴や使い方に関する事項」「情報の扱い方に関する事項」「我が国の言語文化に関する事項」「書くこと」の内容で、全国平均を上回っています。

### 特に正答率の高かった問題

◎「書くこと」領域の問題では、目的や意図に応じて集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができていました。本校ではNIEの活動で新聞記事を読んでそれに関する自分の考えをまとめることを定期的に行っており、その効果が表れていると考えられます。

◎「言葉の特徴や使い方に関する事項」内容の問題では、物語の下書きについて、文中の語句の位置を直した意図を説明したものとして適切な語句を選択することができていました。「情報の扱い方に関する事項」内容の問題では、話し合い中の発言について説明したものとして適切なものを選択することができていました。NIEの活動や授業中において書くことを積極的に取り入れ、ペアやグループで話し合う活動を多く行っている効果が表れていると考えられます。

### 課題となる問題

▲「話すこと・聞くこと」領域の問題では、話し合いの話題や展開を捉えながら他者の発言と結びつけて自分の考えをまとめることに課題が見られました。「読むこと」領域の問題では、短歌に詠まれている情景の時間帯の違いを捉えて時間の流れに沿って短歌の順番を並び替えることに課題が見られました。改善策として、話し合いのはじめに題材について共通理解したり、発言がある程度進んだ段階で内容を整理したりしながら、話題に合った自分の考えをまとめる活動を増やしていきます。また、短歌の学習においては、細部の描写に着目しながら物事の様子や場面などを丁寧につかむ活動を増やしていきます。

## ◆数学について

### 学習指導要領の領域における結果から

◎「数と式」「図形」「関数」「データの活用」の全領域で、県平均を上回っています。

### 特に正答率の高かった問題

◎「関数」領域の問題では、2つのグラフにおけるy軸との交点について事象に即して解釈することができていました。数学的な用語の意味を折に触れ捉え直り、y軸との交点のyの値は初めの量を示していることなど、具体的な身の回りの事象と結びつけて数学的に説明をする活動を行っていることが効果として表れていると考えられます。

◎「数と式」領域の問題では、等式を目的に応じて変形することができていました。「図形」領域の問題では、正三角形が2つある図において、結論が成り立つ過程を三角形の合同をもとに証明することができていました。計算コンクールやデジタルドリル等で計算問題を繰り返し解いて定着を図り、既習事項をもとにして図形の基本的な性質を論理的に確かめたり、証明を読んで新たな性質を見いだしたりする活動を多く設けていることが結果に結びついていると考えられます。

### 課題となる問題

▲「データの活用」領域の問題では、複数のデータの分布の傾向を比較して読み取り、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することに課題が見られました。改善策として、データの分布について四分位数や四分位範囲を比較して読み取り、数学的な用語を使って考察する活動を多く取り入れていきます。

# 生徒質問紙（アンケート）の結果から

◎よい傾向 ▲心配な傾向

## <学校に関すること>

- ◎ 1・2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を使用した頻度や、学校以外でもスマートフォンやコンピュータなどのICT機器を勉強のために使用している生徒の割合が高い。
- ◎ 1・2年生のときに受けた授業で、自分の考えが伝わるように資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表した生徒の割合が高い。
- ◎ 1・2年生のときに受けた授業で、課題の解決に向けて自分で考え、自分から取り組んだ生徒の割合が高い。
- ◎ 学校に行くのは楽しい、自分と違う意見について考えるのは楽しいと感じる生徒の割合が高い。
- ◎ 分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え工夫する生徒の割合が高い。

## <地域に関すること>

- ◎ 地域や社会をよくするために何かしてみたいと考えている生徒の割合が高い。

## <家庭や自分自身に関すること>

- ◎ 毎日、朝食を食べて、同じくらいの時刻に寝ている生徒の割合が高い。
- ◎ 新聞を週に1～3回読んでいる生徒の割合が高い。
- ◎ 将来の夢や目標をもっている生徒の割合が高い。
- ◎ 困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できると答えた生徒の割合が高い。
- ◎ 自分にはよいところがある、人の役に立つ人間になりたいと考える生徒の割合が高い。
- ◎ 普段の生活で幸せな気持ちになることが多いと感じる生徒の割合が多い。
- ▲ 普段、日に2時間以上ゲームやSNS、動画視聴する生徒の割合が高い傾向にあります。
- ▲ 普段、日に1時間以上勉強する生徒の割合が低い傾向にあります。

## <改善策>

- ・ G I G A スクール構想の推進を踏まえ、授業においてタブレットを効果的に使用することは、自分の考えを深めることや友達との考えを比較して話し合うことにも役立っています。授業だけでなく、諸活動においても、生徒は自分の考えを表現する手段としてタブレットを活用しています。また、学習指導要領で求められている生徒の疑問や問いを授業に生かした「主体的・対話的で深い学び」の視点による学習の積み重ねが、話し合い活動の充実にもつながっていると思われまます。今後も、教職員は「生徒自身が自分の考えを働かせる授業」の研修に努め、タブレット端末の有効活用をすすめるとともに、目的をもって意欲的に課題に取り組む生徒の育成を図っていきます。
- ・ 本校では、地区体育祭や王子保駅イルミネーション制作など、地域で多くの生徒がボランティア活動を行っています。また、地域の「菊名人」の指導のもと3年生が一人一鉢の大菊栽培を行い、菊人形会場・公民館等の施設に展示して地域の方々に見ていただいています。今後も、生徒が主体的に地域に関わっていく活動を大切にしていきます。
- ・ 各学年で系統立ててキャリア教育を行っています。3年生ではキャリア学習として、修学旅行先の東京で働く福井出身の方々の話をお聞きするなど、「働くこと」についてさまざまな視点で考える活動を行ってきました。将来の目標となる自分像を定め、目標に向けて、今の自分に何が必要かを考えて実践することを大切にしています。家庭学習においても生徒自身が自らの学びを見つめ、課題や目標を考え、課題を改善したり目標を達成したりする力を高められるように家庭学習の充実に努めるとともに、生徒の夢実現に向けて、目標をもって学校生活を送れるよう取り組んで参ります。
- ・ 生徒たちは、SNS、動画視聴、ゲーム等をしている時間が、長い傾向にあることがうかがえます。学校ではインターネットやSNS等の正しい使い方や情報モラル等に関する指導を行っておりますが、家庭でも、スマートフォン等の使用について話し合っていたり、ルールが守れるようにご協力ください。また、食事や睡眠などのお子様の健康に気を配るとともに、規則正しい生活と家庭学習時間の確保ができるようご協力をお願いします。